



国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所

海上技術安全研究所 国際会議報告



会 議：国際電気標準会議（IEC）海洋エネルギー利用技術専門委員会（TC 114）
設計要件作業部会（MT 2）マドリッド会合

開催場所：マドリッド工科大学・船舶工学科：スペイン・マドリッド



会議期間：2017年3月13日～14日

参加者：7カ国13名（米国：4、英国：3、フランス：2、アイルランド：1、スペイン：1、
カナダ：1、日本：1）

海技研からの出席者：

井上俊司：海洋利用水中技術系長

概要：

- 昨年発行された IEC TS62600-2 「Design requirements for marine energy systems」の改訂に係る作業部会が立ち上がった。我が国も含めて各国の意見を多く積み残したまま発行された経緯があり、発行とほぼ同時に改訂作業を開始する運びになっている。
- 今回は、論点を整理し、今後の作業方針を決定した。

主な貢献

国土交通省海事局のもと、当所を中心として検討されている当該分野の安全ガイドライン（国内版）との整合を図るべく、我が国からの代表として審議に参加している。

今回は、我が国の安全ガイドラインの様に、洋上風力発電での技術的経験を踏まえた要件規定との側面からの作業方針を提案し、基本的な同意を得た。

主な審議結果

主な審議結果は以下の通りである。

1 IEC TS62600-2 について

この規格シリーズは、波力、潮流・海流および海洋温度差による発電施設に関するもので、「第2部：設計要件」は主として施設の健全性に係る要件を規定する。本規格シリーズは、当分野の技術成熟度に鑑み、国際標準への準備段階に相当する技術仕様書（Technical Specification）として作成されている。



2 審議状況

まず、主な対象についての確認を行い、発電機構については構造に対する境界条件として扱うに留めて主たる対象は構造とすることとした。

各国からのコメントに対する作業方針、その他、各章の論点について審議を行い、意見を擦り合わせた。材料としてのコンクリートや複合材の取り扱い、波力と潮流・海流の書き分け等、幾つかの工夫を要する作業項目を抽出した。

我が国からは、可能な部分は洋上風力発電の規格と揃えて使い易くすることを提案し、今後、当視点での具体的な作業をリードして行くこととなった。

3 今後の予定

3~4 か月に1回ぐらいのペースで電話会議を行い、次回の集合会議は2018年3月を予定する。2018年末のCD（委員会原案）完成を目指す。